



草笛学園 2026年8月号

今年の夏も暑いですね。紫や黒の目立つ気温予想図に毎日びっくりしています。長いお休みのある夏ですが、生活リズムを保って、元気に乗りきりたいですね。

自分の可能性を学ぶことの大切さ

どんなことでも、それをできたことが、まず、子ども本人にとってうれしいことでなくてはならないと思います。「ほめて育てる」ということばを、どうも私は好きになれません。ほめることを、子育てや保育・教育の手段にするように聞こえてならないからです。子どもは、ほめられるからがんばろうとするのでしょうか。おとうさんやおかあさんが喜んでいるから、自分もうれしいのでしょうか。それでは、おとなの価値観に従属した、おとなに都合のいい存在として、子どもがつくられようとしているのではないのでしょうか。

子どもたちをみていると、このおとなにとって都合のいい存在として期待されている姿にすいぶん出会います。おとなにとって都合のいい存在が、子ども本人にとってうれしい存在であるとは限らないでしょう。やがて自分なりの価値観で、自分や世界を見つめようとする年齢になって、「本当の自分らしさ」がわからなくて苦しむことになってしまいます。「自分らしさを探す」ことに成功できればよいのですが、そのむずかしさが思春期の子どもたちを少なからず苦しめています。

新しい自分に出会えたことを、素直に喜べる自分ができているでしょうか。雨上がりの青空の色に、ほっと安心させられている自分がある。そんな、自分の感じ方に、ふと心がとまって、「わりかしいいじゃん」と自分につぶやける、自分の感じ方や考え方のなかに、「自分らしさ」を発見できるのは、幸せな気持ちになれるときです。そんな「自分らしさ」を感じ、「自分らしく」生きればよいという気持ちになれば、子どもは、おとなの期待などにもたじろがず、自分の可能性を花開かせることができるでしょう。

白石正久著『子どものねがい・子どものなやみ』

次回のさくらんぼ教室は…

さくらんぼ① 9月10日(木) せいさく

持ってくるもの：はさみ、のり、水筒、上履き

さくらんぼ② 8月27日(木) プール 持ってくるもの：水着、水筒、上履き
9月はお休みです。

その次は、10月29日(木)になります。

※年間計画から変更になっています。ご了承ください。